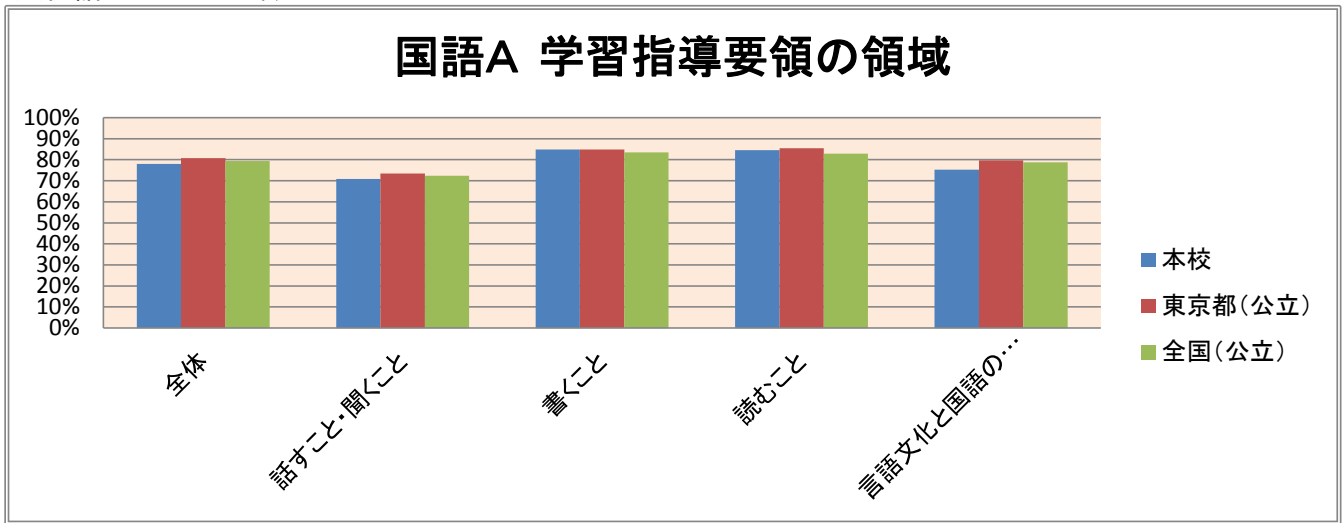


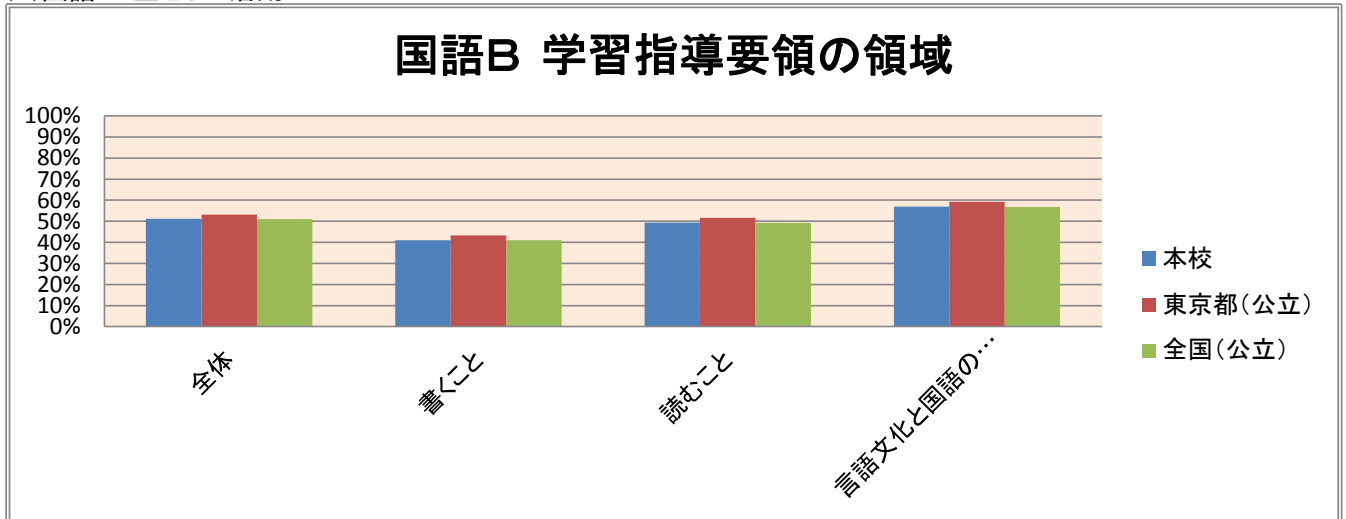
1. 分類ごとの平均正答率

(1)国語A:主として知識



- ・「書くこと」が東京都の平均を上回っている。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特徴」が東京都より4.3ポイント低い。
辞書を活用する。文脈に沿って語句の意味を選び、それが文中の意味として適切かどうかを確認する力をつける。

(2)国語B:主として活用



- ・全項目、わずかながら東京都の平均正答率を下回っている。
- ・「基礎的・基本的な知識・技能を活用する力」が少し不足している。
文章に多く触れさせる中で、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く指導や、資料を読んで要旨を捉えたり必要な情報を正確に読み取ったりする指導を行っていく。

2. 調査問題から見た課題 (つまづいた問題)

【国語A】

(1)話すこと・聞くこと

目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する
二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する

正解率:47.8%

(2)伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文脈に即して漢字を正しく書く
漢字を書く(円のハシケイを求め)

正解率:47.8%

【国語B】

(1)書くこと 読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く
ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く

正答率:41.8%

(2) 読むこと

複数の資料を比較して読み、要旨を捉える

本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する

正答率: 26.1%

(3) 書くこと 読むこと

資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く

水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く

正答率: 31.3%